

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
津市	南河路地区	令和3年10月14日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	31.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	21.7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地域内の農地は、地下水位が高く、麦、大豆の作付には工夫が必要である。 また、地域内で耕作している担い手には、今後においても引き続き耕作を続けてもらうとともに、地域の農地はできる限り地域で守っていく。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

南河路の農地利用は、南河路営農組合を中心として担うほか、入作を希望する認定農業者3名で受け入れて対応していく。

※現在、中心経営体(担い手)として人・農地プランに掲載されている人数:5名

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向 地域内にて自作されている農地は、原則として地域の中心経営体に集積・集約する。
農地中間管理機構の活用方針 南河路地区では、将来の経営農地の集約化を目指し、農地中間管理事業の実施を検討することとし、地域内で継続的に話し合いを行っていく。
営農効率向上への取組方針 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地所有者の了承を得て畦畔を除去して大区画化を図る。
災害対策への取組方針 水害、湿害、寒乾害等の被害防止のため、積極的な排水対策に取り組むとともに、農業改良普及センターの指導による農業技術の向上に努める。